Semicon 台湾 2025 出張報告

セミコンショー会期：2025年9月10～12日
出張先　：台湾・台北 TaiNEX（台北南港展覧館）
用件　　：Semicon Network Summit
　　Semicon Taiwan 2025
気候　　：滞在期間の日中の最高 / 最低気温は34℃ /27℃で同時期の東京とほぼ同じで暑い
出席　　：Semicon Network Summit（9/9）
　　Semicon Taiwan 2025（9/10～12）

９月８日、羽田から出発して台湾･台北松山空港に着いた。２週続けての海外出張となったが３時間半で到着し、インドよりもはるかに近いことをしみじみと実感。

【Semicon Network Summit】

セミコンショー前日である9/9に SEMI 台湾主催の「セミコンネットワークサミット」が行われた。他のセミコンショーでは1日目の最初に行われるオープニングセッションの意味合いが濃かった。

賴清德 台湾総統も実際に会場に足を運び登壇スピーチをし、セミコン台湾が国を挙げてのイベントであることを窺わせた。

甘利明 自民党半導体戦略推進議員連盟名誉会長が「日台間の半導体戦略協力の推進」､「TSMC熊本工場の設立支援」､「台日半導体技術促進会の設立への貢献」､「国際経済・産業協力および技術革新への卓越した貢献」を理由に来総統から経済部専業奨章の表彰を受けた。

サミットでは KeyNote スピーチやパネルディスカッションが行われ主に以下の2点が話された。

・グローバルエコシステムの強化
国際協力による技術開発の加速。
台湾の役割とグローバル連携の重要性を強調。
台湾を中心とした民主主義陣営によるサプライチェーン再編。

・国際人材ネットワークの形成
半導体産業における高度人材の国際的な流動性と育成。
台湾・米国・日本・欧州などとの教育・研究機関の連携強化。

【Semicon Taiwan Exhibition】

Semicon Taiwan は今年で30周年という区切りの年。

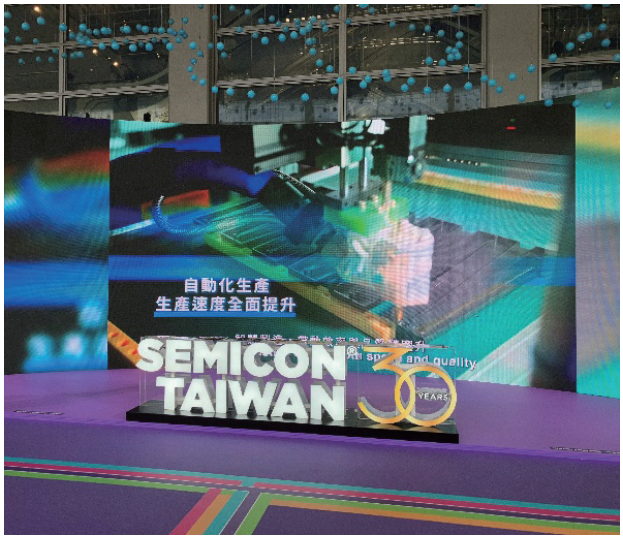
テーマは「Leading with Collaboration. Innovating with the World.（協働で拓く、グローバルイノベーション。）」

事前登録時に「入場料が NT$500（約￥2,500）」と表示され、セミコンショー初の有償化で驚いたが名刺のコピーを送り、半導体産業関係者であることを証明すると無償化のクーポン番号が送られてきた。入場自体が有償というセミコンショーは初めてだが、実際の来場者はほとんどが出展社や半導体関連産業関係者なので、大半が無償だと思う。

出展社は主催者発表で約1,200社以上、4,100ブース以上、来場者は10万人以上とセミコン台湾史上最大の規模となった。セミコン会場は大盛況でいままさに AI の追い風に乗っている台湾半導体業界の勢いを感じさせるものであった。

セミコンネットワークサミット

賴清德 台湾総統



セミコン台湾30周年

活気ある会場

セミコン期間中のフォーラムやセミナーで注目されたのは、

① 3DICAMA（3D Integrated Circuit Advanced Manufacturing Alliance）の発足

② Heterogeneous Integration Global Summit 開催

の2点ではないかと思う。

3DICAMA は3D インテグレーションの発展のため「異分野・異業種の連携強化による技術革新の加速」、「サプライチェーンの強靭化」、「国際標準の策定と普及」、「技術の商業化促進」を目的とし、TSMC と ASE が共同議長となり40社弱が参加するコンソーシアム。日本企業の参加はまだない模様。

Heterogeneous Integration Global Summit は、Day 1, 2, 3と3日間に渡って行われた。現在の半導体チップビジネスを牽引している AI 用半導体の技術課題である Compute Wall / Memory Wall、Bandwidth Wal、Thermal Wall をどのように解決し発展させていくかが目的。

3DICAMA も Heterogeneous Integration Global Summit の AI 半導体の一層の発展を目的としているところは同じである。

会場内の Workforce Development Pavilion

AI 特需を圧倒的に享受している台湾ならではの熱気と、半導体の技術開発をビジネスに直結させることができる現在の台湾のアドバンテージを強く感じさせたセミコンショーであった。

ショー全体の雰囲気は日本半導体がグローバル市場を席巻していた80年代～90年代初期の活気のあるセミコンジャパンを想起させるものがあった。

（SEAJ 事務局　太田（おおた）　恒和（つねかず））